

会議録		令和7年12月26日作成	令和11年3月末日廃棄
会議名	京都府城陽警察署協議会（令和7年度第3回）		
開催日	令和7年12月8日（月曜日）		
時間	午後1時30分から午後3時20分までの間（110分）		
場所	京都府城陽警察署 道場		
出席者	大久保会長、浦畠副会長、武田委員、森委員、亀川委員、水田委員、中川委員、島本委員、田中委員、今西委員、吉岡委員 ----- 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、広聴相談係長		計11人 計10人
諮問事項	1 特殊詐欺の現状と対策について 2 地域警察の活動について		
会議内容	1 署長挨拶 2 会長挨拶 3 会長会議結果報告 4 協議 （1）諮問事項説明 特殊詐欺の現状と対策について～刑事課長 【委員】今年に入って私にも6回くらい詐欺と思われる電話がかかってきた。本当に上手に話をしてくる。内容は多種多様であり、だまされるのもうなづける。やはり電話の相手は闇バイトが多いのか。 【警察】恐らくそのような感じと思われる。詐欺電話の多くは海外拠点が多く、海外に呼んでかけ子をさせているのが主流である。 【委員】犯罪であることを承知でなぜ危険を冒してまで闇バイトに手を出してしまう若者が多いのか。 【警察】必ずしも若者に限ったことではないが、最初は闇バイトと知らずに登録し、その際に身分証明書などを相手に示していることで、それを盾にお脅かされて犯罪に手を染めてしまうというパターンも多い。 【委員】受け子を捕まえても上部までたどり着けないのはなぜか。 【警察】全てのやり取りは秘匿性の高いSNSが使用され、顔を合わせることが一切ない。受け子などは上位者の名前はおろか顔すら知らないため、上部へたどり着くのが困難となっている。		司会 副署長 司会 会長

会議  
内容

【委員】闇バイトの報酬は幾らくらいなのか。

【警察】普通のバイトの時給に比べるとかなり高額であることを強調する文言が多い。楽して高額なバイト代が稼げるということで危険を顧みず闇バイトに手を染める人が後を絶たない。

【委員】警察や公務所を名乗る偽電話の見破り方はどうしたらよいか。

【警察】警察がいきなり携帯電話でかけてくることはほとんどなく、テレビ電話で話すこともない。警察に限らず、公務所やクレジット会社、銀行が電話で個人情報を聞き出したり、お金やカードを預かることはないので、そのようなことを話し出した時点で偽物と判断してほしい。

【委員】だまされて犯人の口座へお金を振り込んでしまった場合、お金は戻ってくるのか。

【警察】すぐに引き出される場合が多いので、そうなればお金が返ってくる可能性はないに等しいが、早めに気づいて口座凍結が間に合えば少しだけでも返金される可能性はある。また口座凍結することにより新たな被害を防ぐにつながる。

特殊詐欺被害防止の広報啓発は何度も繰り返し実施し、メディアなどでも広報してもらっているが被害がなくならない。我々もいろいろな場面を通じて更なる広報啓発活動を続けていくことから、委員においても周囲への注意喚起をお願いしたい。

(2) 諮問事項説明

地域警察の活動について～地域課長

【委員】交番で見張り勤務や立番勤務があるのが分かったが、交番以外で立番勤務をすることはないのか。

【警察】取り扱いなどがないときには、小学校の通学時間帯などには通学路などに赴いて学童警戒をしている。ほかにも交通事故の多発場所などにおいて交通監視などを行っている。

【委員】新任警察官は地域課に配属になるのか。

【警察】地域課は全ての事件事故の初動対応を行うので、まずは交番勤務で基本を身に着けて、一定年数経過すれば希望する部署へ登用される機会が与えられる。

【委員】交番前を通ると留守の時も散見されるが、交番を訪ねて誰もいないときはどうすればよいか。

【警察】交番設置の電話の受話器を上げると基本、本署とつながる設定にしている。緊急で出動した場合は、設定できていない場合があるのでその際は、案内板に書いてある番号を押してもらえば本署と通話ができる。

【委員】交番から高齢者宅へ「いたわりテレホン」という電話をかけられるとのことだが、逆に特殊詐欺の電話と思われないか。

【警察】確かにそういうことはよくある。ただ、話の内容を聴いてもらえば分かるが、特殊詐欺の電話などにだまされないように注意喚起を行っているもので、個人情報を聞き出したり、お金の話はしていないので、それで区別してもら

会 議  
内 容

えばよい。警察からの電話かどうか気になるときは、当署に電話をして確認してもらえばよい。

(3) その他

【委員】自転車の交通違反で検挙された者は講習を受けると聞いているが、どこで講習を受けるのか。

【警察】警察本部で講習を受けることになる。

【委員】自転車が盗まれても防犯登録カードがないと届け出ができないのか。

【警察】そんなことはないが、同じ自転車はたくさんあるので被害者の自転車として特定できる資料がないと発見が難しいのは事実である。

【委員】警察が予算を出して、民間のところへ防犯カメラの設置をお願いすることはできないのか。

【警察】電気代等のランニングコストも必要となり、予算の問題が出てくることから難しい。

5 事務連絡

令和7年度第4回京都府城陽警察署協議会は、令和8年2月初旬に実施予定である。

以上

## 第3回京都府城陽警察署協議会の開催状況

